



## ■ 特徴

当社「イングリッシュ・リーダビリティ・アナライザー」の特長を分解して解説しました。

無料 自動英文診断サービス  
English Readability analyzer

この英文  
読みやすい？

サイト URL : <http://www.a-people.com/readability/>

今すぐあなたのお手元の英文を診断してみませんか？(下のテキストBOXに英文をペーストして、診断ボタンをクリックしてください)

The role of a chef is to listen to customers ideas, then create a menu that suits customers tastes. The chef scrutinizes the flavors of ingredients, exhaustively extracts the ingredients flavors, and creates cuisine to match customers desires.  
In some ways we could say our roles resemble that of a chef. Recognizing the various specialties of top-quality translators and interpreters, further concentrating their special flavors, and bringing to completion documents that match our clients requirements. We work continuously to improve our service and eye to quality, much like a long-standing restaurant jealously guards its cuisine, to ensure clients continue to entrust us with their intercultural communications.

①

②

③

④

⑤

診断結果

専門用語や難しい用語が若干使われていたり、長い文章があります。

FRE	FKG	CLI	GFI	SMOG	ARI	学年レベル
61	10	10	13	9	10	高校1~3年生

読みやすさレーダー

フレッシュ・リーディング・イズ・フォーミュラ

61点

0 当社基準 100

### 1. 作成した英文をすぐに解析

英文を入力(または作成した英文をコピー&ペースト)し、「診断」ボタンを押すとすぐに結果を見ることができます。

### 2. 英文レベルをチェック

作成した英文のレベルを一言で解説しています。

### 3. 指標ごとの点数を一覧で表示

指標別に点数を一覧表示し、英文全体の読みやすさを学年レベル別に表示しています。アメリカの学年制度(小学1年生は1、中学1年生は7)を元にした診断結果です。

### 4. ひと目でわかる

#### 「読みやすさレーダー」

指標(「各指標について」参照)ごとに診断結果を表示。当社最低基準と比べることにより、どこをポイントに修正が必要か、ひと目で確認することができます。

### 5. 米国の標準指標もチェックできる

この指標は米国の官公庁で文書作成時に基準とされている数値で、英文全体の読みやすさを総合的に評価する指標です。

## ■ 各指標について

### ➤ FRE : フレッシュ・リーディング・イズ・フォーミュラ Flesch Reading Ease Formula

(指標:0~100点で表され、点数が高いほど読みやすい)

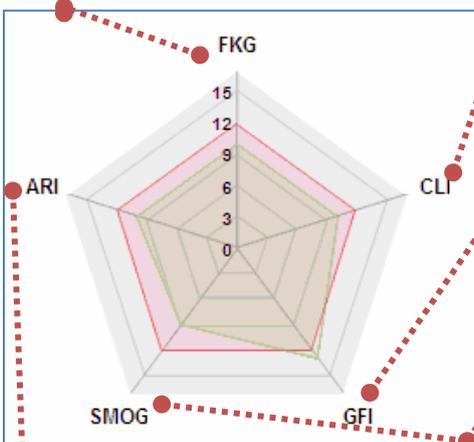
点数が高いほど、読みやすく、理解しやすい英文、逆に点数が低いほど、読みにくい英文であることを示します。一般に、米国の官公庁では、文書作成時に本指標のターゲット値が指定されており、フロリダ州では、生命保険証書の内容は45点以上であることが義務付けられています。(『リーダーズ・ダイジェスト』は65点、『タイム誌』は52点。)

### 【読みやすさレーダー指標】

### ➤ FKG: フレッシュ・キンケイド・グレードレベル Flesch-Kincaid Grade Level

フレッシュ・リーディング・イズ・フォーミュラを使いやすくしたもので、教師による教科書の選定など広く使われています。

本指標は、米国の学年制度で表され、スコアが8であれば、その英文は米国の平均的な8年生(日本の中学2年生)が理解できるとされています。



### ➤ CLI : コールマン・リアウ・インデックス Coleman-Liau Index

コールマン・リアウ・インデックスの特徴は、単語の難易度を計るのに音節数ではなく文字数をカウントする点です。その正確性には異論もありますが、コンピュータプログラムでは音節よりも文字数をより正確に計算できるため、1つの指標として参考になります。

### ➤ GFI : ガニング・フォッグ・インデックス Gunning Fog Index

幅広い読者層が対象となる文章では、一般的に本指標が12以下とされており、一般的な読者に向けて英文が書かれているかどうかを確認する指標です。ただし、3音節以上の単語でも、意味的には平易なものもあるため、正確性は限定されます。

### ➤ SMOG : SMOG インデックス SMOG Index

ヘルスケア関連資料に広く利用されている指標です。

### ➤ ARI : オートメティッド・リーダビリティ・インデックス Automated Readability Index

技術資料やマニュアル用に設計された指標で、本来は米国陸軍で使用する文書用に作成されました。コールマン・リアウ・インデックス同様、音節の要素については考慮されていませんが、1つの指標として参考になります

## 【会社概要】

エイアンドピープルは、国内外のよりすぐりの翻訳者をネットワーク化し、世界各国の主要言語に対応した翻訳・通訳サービスを提供しています。また、専門的な英語力を生かし、IR ツールの翻訳や、HP・会社案内などの各種原稿、ツールの作成等を行なっております。

グローバル化が進む中、ひとつの原本を複数の言語に翻訳する多言語翻訳にも対応しており、世界で活躍する多くの企業様にもご活用いただいております。

- 会 社 名 : 株式会社 エイアンドピープル  
代 表 者 : 代表取締役 社長 浅井 満知子  
創 立 : 1998年10月30日  
資 本 金 : 1,000万円  
本 社 所 在 地 : 東京都渋谷区恵比寿西1-3-10 ファイブアネックスビル 7F (〒150-0021)  
事 業 内 容 : ・翻訳/技術翻訳  
・IR ツール企画制作・デザイン・制作  
・通訳派遣、国際会議運営  
・ローカライゼーション  
・マニュアル、取扱説明書の企画制作  
加盟業界団体 : ・日本IR協議会  
・MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)賛助会員  
U R L : <http://www.a-people.com>



### 【社名の由来】

A&People の“A”は「Ability(能力)」と「Asia(アジア)」の意味を持ち、“People”は私たちスタッフと、翻訳者・通訳、そしてお客様を指しています。コーポレートマークは、サービスポリシーでもある「A shining piece」が、輪状に重なり合い、一つの円を形成し、幾重にも広がる様を表しており、お客様と共に成長し輝き続けたいと願う気持ちを込めています。

### 【サービスポリシー】～A shining piece～

この一片は不変性のシンボル、自然界からヒントを得ました。鮮やかな赤は「猩々緋色」。戦国武将が好んだ生命力あふれる情熱の色です。アジアでは幸運色で、活動と創造の源の色とされています。

## 【会社沿革】

- 1998年10月 中目黒にて、(有)エイアンドピープル設立  
2000年9月 株式会社エイアンドピープルに組織変更  
オフィスを恵比寿に移転  
2002年9月 中国上海に競争力強化のための拠点を設立  
ハンソン社との合併会社設立、社名:A&People Business Consulting、資本金:200,000米ドル  
2006年1月 中国上海臧鴻貿易有限公司と提携契約を締結  
2007年7月 当社HP内で「People」連載開始  
2007年8月 中国上海にて日本情報誌「Live! Tokyo」を発行開始  
2008年1月 アメリカ企業と戦略的パートナーシップ提携  
2008年9月 日本IR協議会にIR支援会社として会員登録  
2010年12月 「イングリッシュ・リーダビリティ・アナライザー(English Readability Analyzer)」試験運用開始  
2011年11月 「イングリッシュ・リーダビリティ・アナライザー(English Readability Analyzer)」本格運用開始

### 【お問い合わせ先】

○エイアンドピープルの事業内容については下記までご連絡ください。

エイアンドピープル 担当:橋川(きつかわ) TEL:03-5428-5668 [mkitsukawa@a-people.com](mailto:mkitsukawa@a-people.com)

○ニュースレターの内容については下記までご連絡ください。

広報代行:PR会社 アネティ 担当:大石 TEL:03-5475-3488 [oishi@anety.biz](mailto:oishi@anety.biz)